

ラグビー花園 2回戦で善戦

第102回全国高校ラグビー大会に大分県代表で出場したラグビー部。

初戦は令和4年12月27日、高松北高校から20トライ、花園歴代5位の130得点を奪って快勝スタート。続いて2回戦は、12月30日に前回大会優勝の東海大大阪仰星高校(第3シード)と対戦。高校日本代表候補のナブラギ・エロニくん(国際3年)が迫力あるトライを決めたが、スコアは7点でストップ。42-7と、ディフェンディングチャンピオンのゲーム運びのうまさに屈した。

キャプテンの浦山丈くん(準特3年)は「今までの自分たちなら(点差が開いて)諦めてしまっていたけど、今日はそれがなかった。最後までトライを取りに行く意識で戦えた」と話しており、敗れたとはいえ、これからのに向けた収穫はあった様子。

今回の試合をもって、3年生部員は部活動を引退。年明けから1・2年生の新体制がスタートした。2023年も東明ラグビーから目が離せない。

